

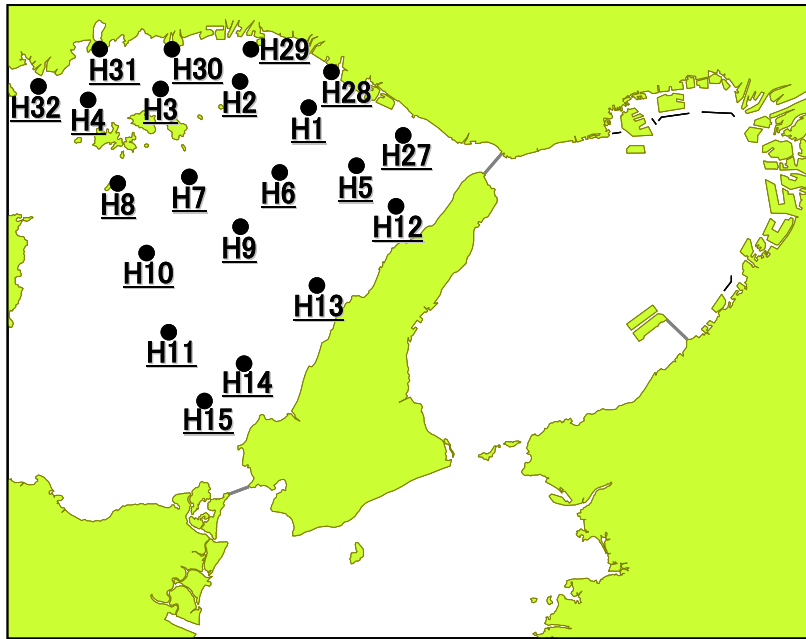
# 兵庫県水産技術センターだより

赤潮情報 AK-03-29号(播磨灘全域)

令和3年10月6日発行

10月4～6日に赤潮プランクトン調査(播磨灘全域：臨時調査)を実施しましたので、その結果をお知らせします。

- 【概況】・魚類を斃死させる有害赤潮プランクトンのカレニア・ミキモトイとヘテロシグマ・アカシオが確認されました。
- ・北部沿岸を中心に、小型珪藻(スケルトネマ、キートセロス、いずれも無害種)が発生しています。
  - ・播磨灘の広い海域でコスキノディスクス・ワイレシーが大量発生しています。本種の大量発生後には、粘液物を伴う「ヌタ」が海底付近に蓄積し、漁網などの汚損を引き起こす場合がありますのでご注意ください。



**注意が必要な赤潮プランクトンの密度**

シャットネラ・アンティカおよびマリーナの合計値  
 注意体制： 10細胞/ml 警戒体制： 100細胞/ml  
 カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ  
 注意体制： 500細胞/ml 警戒体制： 5,000細胞/ml  
 ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ  
 注意体制： 50細胞/ml 警戒体制： 500細胞/ml

赤潮プランクトン調査結果(海水1ミリリットルあたりの細胞数)

調査地点	水深(m)	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	シャットネラ・アンティカおよびマリーナ	シャットネラ・カキタ	シャットネラ・クロボサ	シャットネラ・ベレコロサ	コルピニウム・ポリコロピタ	ヘテロシグマ・アカシオ
H1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H8	0	0	1	0	0	0	0	0	0
H9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H11	0	0	0	0	0	1	0	0	0
H12	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H27	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H28	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H29	0	0	0	0	0	0	0	0	1
H30	0	0	0	0	0	0	0	0	1
H31	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H32	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【今後の調査予定】

- ・臨時調査を実施した場合は別途お知らせします。